

学びの森

令和3年度船橋市立大穴小学校
学校だより臨時号 **家庭数配付**

2月16日発行



保護者の皆様におかれましては、今年度1年間本校の教育活動に御理解、御協力いただき、誠にありがとうございました。先日御協力いただきました学校評価アンケート及び児童の学校生活アンケート、また、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果及び考察についてお知らせいたします。貴重なご評価の結果につきましてはしっかり考察し次年度への教育活動に活かしてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

校長 後藤 洋美

【学校評価アンケート（保護者）集計結果】（回答数372）

質問	回答				
	よい	おおむねよい	やや不十分	不十分	わからない
（1）学校は、子供の教育活動を学校だより、学年だより、学校ホームページなどで分かりやすく伝えている。	48.9%	46.2%	3.8%	0.5%	0.5%
（2）学校は、保護者や地域の方々に開かれた学校づくりをしている。	37.9%	53.5%	3.0%	1.1%	4.6%
（3）学校は安全に配慮している。	33.9%	53.2%	5.4%	0.8%	6.7%
（4）学校は感染症まん延防止に係る教育課程の変更等の説明や連絡を適切に行っている。	46.0%	46.2%	6.2%	0.5%	1.1%
（5）学校は子供や保護者からの連絡・相談に対し、適切に対応している。	45.7%	42.7%	5.6%	2.2%	3.8%
（6）学校はいじめ防止に対して積極的に取り組んでいる。	20.2%	43.0%	7.5%	1.3%	28.0%
（7）学校は規範意識・思いやりの心や態度を育成することに努めている。	31.5%	48.9%	4.3%	2.2%	13.2%
（8）自分の子供は学校が楽しく、元気に登校している。	47.6%	43.5%	7.3%	1.3%	0.3%
（9）自分の子供は自ら挨拶したり、礼儀正しい態度で過ごしたりしている。	14.5%	52.7%	27.2%	2.2%	3.5%
（10）担任や専科の教員は、わかりやすい授業づくりに努めている。	41.7%	41.7%	6.5%	1.9%	8.3%
（11）自分の子供は、学習に興味を持ち意欲的に取り組んでいる。	20.4%	48.4%	24.2%	6.2%	0.8%
（12）自分の子供は、進んで宿題に取り組んでいる。	26.1%	38.7%	25.5%	9.1%	0.5%
（13）自分の子供は、規則正しい生活習慣が身についている。	21.2%	55.6%	18.5%	4.6%	0.0%
（14）自分の子供は、進んで体を動かし、体力づくりに励んでいる。	26.3%	36.3%	29.6%	7.8%	0.0%
（15）家庭では、自分のことと学校のことについて話すことが多い	31.2%	44.9%	18.5%	5.1%	0.3%

「よい」と「おおむねよい」の合計	令和2年度	前年度比
95.2%	92%	3.2%
91.4%	91%	0.4%
87.1%	87%	0.1%
92.2%	82%	10.2%
88.4%	83%	5.4%
63.2%	78%	-14.8%
80.4%	77%	3.4%
91.1%	88%	3.1%
67.2%	64%	3.2%
83.3%	78%	5.3%
68.8%	70%	-1.2%
64.8%	70%	-5.2%
76.9%	66%	10.9%
62.6%	61%	1.6%
76.1%	73%	3.1%

【学校評価アンケート（保護者）主な記述内容】

①教育課程・年間計画全般

- ・学力に関して、結果を知らせて欲しい。具体的に「こんな取り組みをして上がった。」「まだ不十分」など。
- ・リアルタイムで行事予定や下校時刻の変更がHPで見られるようにしてほしい。
- ・下校時間が大幅に遅い学級がある。

②家庭への対応について

- ・子どもの体調や怪我において、細やかな対応に感謝している。
- ・子ども（同士の）の怪我の際、両方に連絡して欲しい。
- ・持ち物について、「ある人は〇〇を用意して」と書かれていていて分かりにくい。「皆持ってきてた。」と（子どもに？）言われることが多い。
- ・事象や問題が起きたら、隠さずに話して欲しい。速やかに真実を報告して欲しい。
- ・子どもの様子が分かるお便りが1回しかなく、もっと知りたい。

③学級、教職員について

- ・授業参観をして、一部の子どもの離席、騒がしさ見られ、もう少し厳しい環境であってもよい。
- ・他のクラスの先生が叱りに来るほど騒がしいと子どもに聞いた。担任の先生の言うことを聞かない子のせいで授業が成り立たないのではと心配。

【考察】

概ね前年度の同じ項目を上回る評価をいただきました。特に、（4）（13）では前年度を大きく上回りました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る様々な教育課程の変更や対応について御理解・御協力いただき深く感謝申し上げます。また、コロナ禍においても子供たちが規則正しい生活習慣を心がけ、体調の維持に努めたことも御家庭の御協力があったからこそ、と考えます。

一方、（6）（12）では前年度を下回る結果となりました。特に（6）について、本校は「令和3年度学校いじめ防止基本方針」をもとに「いじめをしない、させない、許さない」姿勢で取り組んでおりますが、「わからない」との回答が3割ありました。今後は、これまでの集中教育相談日や学校生活アンケートを活用した取組、また、児童会が作成したいじめ撲滅スローガンなども紹介しながら、御家庭と共に更にいじめ対策を進めてまいります。（12）についても、これまで同様「家庭学習がんばりカード」をもとに学びの楽しさを児童に伝えながら、意欲的に取り組むことができる課題を準備してまいります。

【学校生活ふりかえりアンケート（児童）集計結果】（回答数429）

質問	回答		
	はい	だいたい	いいえ
（１）学校生活は楽しいですか	63.9%	29.8%	6.3%
（２）授業はよくわかりますか	52.9%	43.8%	3.3%
（３）宿題をきちんとしていますか	71.3%	23.3%	5.4%
（４）自分からあいさつをしていますか	50.1%	42.9%	7.0%
（５）人のいやがることを言ったり、したりしないようにしていますか	60.4%	35.2%	4.4%
（６）係や当番など、やるべきことはしっかりやっていますか	81.6%	17.7%	0.7%
（７）規則正しい生活をしていますか（早寝・早起き・朝ごはん等）	55.5%	39.2%	5.4%
（８）休み時間は、元気に体を動かして遊んでいますか	54.3%	31.5%	14.2%
（９）先生は、がんばったことやよいところをほめてくれますか	59.0%	33.3%	7.7%
（１０）先生は、困ったことやなやみを熱心に聞いてくれますか	69.5%	26.8%	3.7%
（１１）安全に気をつけて登校したり、下校したりしていますか	87.6%	11.4%	0.9%
（１２）学校で火事や地震が起きた時の、避難のしかたがわかりますか	78.6%	18.2%	3.3%

「はい」と「だいたい」の合計	令和２年度	前年度比
93.7%	93.9%	-0.2%
96.7%	94.1%	2.6%
94.6%	90.3%	4.3%
93.0%	93.5%	-0.5%
95.6%	92.3%	3.3%
99.3%	98.2%	1.1%
94.6%	89.8%	4.8%
85.8%	85.8%	0.0%
92.3%	96.8%	-4.5%
96.3%	95.7%	0.6%
99.1%	97.7%	1.4%
96.7%	86.0%	10.7%

【考察】

全ての評価項目で、「はい」と「だいたい」の評価が合わせて９割以上でした。特に（３）（７）（１２）の項目では前年度に比べて大きな成果が見られました。コロナ禍においても「早寝・早起き・朝ごはん」や、宿題にきちんと取り組むといった生活習慣をきちんと続けた児童が多かったようです。また、数回の避難訓練で、「おかしも」のルールを守った避難の仕方や、自分の命は自分で守ることの大切さを真剣に学ぶ様子も見られました。

一方で、（９）の項目については前年度を下回りました。日常の授業や学校生活の中で、教員が子供のがんばりやよいところについて認め、励まし、成長につなげていくことは教育の根幹であり、結果につきましては真摯に受け止め改善していかなければならないと考えております。信頼される教師、子供から学ぶ教師を心がけ、共に成長していくことができるよう、教育活動を進めていく所存です。

【令和３年度全国・学力学習状況調査】

本年度の全国学力・学習状況調査は令和３年５月２７日（木）に、全国の小学校第６学年及び中学校第３学年の全児童生徒を対象に実施されました。本校でも、６年生８２名が参加しました。この度分析結果がまとまりましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。なお、調査に参加しました６年生一人一人には、既に個人票（結果のお知らせ）を配付しております。よろしくお願いいたします。

１ 本校の状況（全国との比較）

国語

全ての項目において全国平均を下回る結果となりました。特に記述式の問題については大幅に下回る結果となりました。具体例を示します。

<話すこと・聞くこと>

- ・資料を使ってスピーチをする。

<読むこと>

- ・説明的な文章を読み、分かったことをまとめる。

<書くこと及び言葉の使い方や特徴に関する事項>

- ・自分の考えを主張する文章を書く。

これらの項目で課題が見られました。

算数

全ての項目において全国平均を下回る結果となりました。国語同様に記述式の問題については大幅に下回る結果となりました。具体例を示します。

<数と計算>

- ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。

<図形>

- ・二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。

これらの項目で課題が見られました。また、記述式の無回答率が全国平均と比べて数ポイント高い傾向が見られました。

２ 改善計画

国語科の授業において、主語と述語を適切に照応させて、文章を読んだり、文を正しく書いたりする学習場面を意図的に取り入れます。また、根拠と理由を明確にして自分の考えを書いたり、学習のふり返りを書いたりするなどの「書く活動」を積極的に取り入れます。

算数科の授業において、数学的活動（・日常の事象から見いだした問題を解決する活動・算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動・数学的に表現し伝え合う活動）を積極的に行います。

授業の中で基礎・基本を習熟する時間を確保したり家庭学習などを有効に活用したりし、繰り返し学習を行い、計算など基礎的・基本的な技能を習得します。